

JPHC 研究データを用いた、死亡場所の規定因子に関する研究

1. 研究の対象

平成元年度において、岩手県二戸、秋田県横手、長野県佐久、沖縄県中部（旧石川）、葛飾区（旧東京都葛飾）の各保健所管内在住のその当時 40–59 歳だった約 6 万人（コホート I）、および、平成 4 年度において、茨城県水戸（旧笠間）、新潟県長岡（旧柏崎）、高知県中央東（旧土佐山田）、長崎県上五島（旧有川）、沖縄県宮古、大阪府吹田の各保健所管内在住のその当時 40–69 歳だった約 8 万人（コホート II）の多目的コホート研究（JPHC Study）に参加された合計約 14 万人のうち、死亡した方について、死亡場所を規定する因子を探索します。

2. 研究目的・方法

これまで報告された死亡場所に関連する因子として、海外では、社会経済的地位、貧しい地域の居住、文化や人種などが報告されています。日本では年齢や性別、医療者の介入などが報告されていますが、研究は少ないです。患者や家族の希望は死亡場所を決定する大きな要因ではありますが、それ自体が患者の疾患や社会経済的な背景に大きな影響を受けることが予想されます。そこで、本研究では、前向きコホート研究により、社会経済的な因子やその他の背景因子と死亡場所の関連について探索します。

研究実施期間は 2020 年 12 月 31 日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

生活習慣アンケート

死亡時情報（死亡時年齢、死因、死亡年度、死亡場所）
など

4. 外部への試料・情報の提供・公表

試料・情報の送付は、書留・配達記録など、受取人の手元に確実に届くことを保証する仕組みを用います。電子媒体では、暗号化・パスワード管理など、第三者がファイルを容易に閲覧できない仕組みを施します。

研究で得られた成果は国民へ広く情報を還元するために、ホームページで公開しますが、集団の値が公開され、個人を特定できるような情報は公開されません。

5. 研究組織

東京大学医科学研究所附属病院 島田直樹
国立がん研究センター 津金昌一郎

6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、対象者ご本人、もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。

この場合も対象者ご本人に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター 予防研究グループ コホート事務局 澤田典絵

TEL 03-3542-2511 (内線 1946) , FAX 03-3547-8580

e-mail: jphcadmin@ml.res.ncc.go.jp

研究責任者：国立がん研究センター 予防研究グループ 澤田典絵

研究代表者：国立がん研究センター 津金昌一郎